

付託事件等審査結果報告

令和元年7月8日

薩摩川内市議会産業建設委員会
委員長 石野田 浩

1 委員会の開催日

7月1日

2 付託事件及び審査結果

- (1) 議案第59号 薩摩川内市森林環境譲与税基金条例の制定について
本案は、原案のとおり可決すべきものと決定した。

なお、審査の過程において、本基金の活用にあたっては、まずは森林経営管理意向調査を十分に行うなどして、当該基金を本市の森林の整備等のために有効に活用できるよう検討されたい旨の意見が述べられた。

- (2) 議案第60号 薩摩川内市観光船条例の一部を改正する条例の制定について

本案は、原案のとおり可決すべきものと決定した。

- (3) 議案第61号 薩摩川内市川内駅コンベンションセンターの指定管理者の指定について

本案は、原案のとおり可決すべきものと決定した。

- (4) 議案第62号 薩摩川内市手数料条例の一部を改正する条例の制定について

本案は、原案のとおり可決すべきものと決定した。

- (5) 議案第63号 薩摩川内市一般住宅条例の一部を改正する条例の制定について

本案は、原案のとおり可決すべきものと決定した。

- (6) 議案第64号 令和元年度薩摩川内市一般会計補正予算のうち本委員会付託分

本案は、原案のとおり可決すべきものと決定した。

- (7) 議案第70号 令和元年度薩摩川内市一般会計補正予算のうち本委員会付託分

本案は、原案のとおり可決すべきものと決定した。

なお、審査の過程において、既存住宅改修等環境整備事業補助金については、地域経済への波及効果も高いことから、今後においても継続した予算措置に努めるとともに、消費税増税を踏まえ、補助金限度額の引上げについても検討されたい旨の要望が述べられた。

- (8) 陳情第5号 再生エネルギーの出力制御に関する陳情

本陳情については、まず当局に再生可能エネルギーの出力制御の仕組みについて説明を求めた。委員から、再生エネルギーの出力制御に伴う優先給電ルールに関する質疑があり、当局から、「原子力発電よりも再生可能エネル

ギーを優先すべきといった陳情趣旨であると思われるが、出力制御は、国のエネルギー政策における優先給電ルールに基づいた対応となっているため、やむを得ないと認識している」旨の答弁があった。

その後、本陳情の取扱いについて、採決を求める意見があったことから討論に入った。

本陳情に対する討論はなく、採決の結果、起立者なしにより不採択とすべきものと決定した。

3 所管事務の調査結果

各課所の事務について所管事務調査を行い、調査の過程において述べられた意見・要望の概要は、次のとおりである。

- (1) 薩摩川内市企業連携協議会が行う学校と企業との情報交換会は、生徒等が地元企業に関心を持つ機会として期待されていることから、更なる情報発信がなされるよう同協議会との連携を図られたい。
- (2) 旅館組合では、各地域におけるイベント・祭り等への誘客に努めているものの、宿泊客数は伸び悩んでいることから、宿泊客を増やす取組について鋭意検討されたい。